

自民党
公認

こみやま
祐紀ゆき

埼玉県に子育て世代の声を！

「住みつけたい」「帰ってきたい」
子どもたちがそう思える川口・埼玉をつくる！

私は、川口・埼玉が大好きです。私の小学生の息子たちにも、ずっと地元を好きでいてほしいと心から願っています。ですが統計的には、進学や就職のタイミングで家を出て、そのまま故郷を離れてしまう若者たちも多いのが現実です。

その結果、まちの活気が少しずつ失われ、中小企業は後継者不足・人手不足に悩まされています。東京都との教育格差・経済格差も大きな問題です。

だから私は、川口・埼玉を、もっと元気で、もっと安全で、もっとワクワクする、子どもたちが「住みつけたい」「帰ってきたい」と思えるまちにしたい。それが、私の挑戦です。

私の政策提言をぜひお読みいただきつつ、あなたの声も聴かせてください。川口市に暮らすみんなで、このまちの未来について一緒に考えていきましょう。

教育環境・子ども支援の充実を！

● 深刻な「教員のなり手不足」を解消するため、「パーティーチャージャー」の掘り起こしなど、他県に先駆けて積極的な教員増強計画を進めます。

● 妊娠〜子どもの高校卒業まで、行政から受けられる全ての支援を一覧で分かりやすく確認できる仕組みを作ります。便利な制度は様々あるものの、その複雑さが、利用率を下げていると感じています。

中小企業への手厚い支援体制を！

● 川口・埼玉の経済をもっと強くするために、原材料の高騰・人材確保の難しさ・後継者問題など様々な課題を抱える中小企業に寄り添う、伴走型の経済政策を押し進めます。

● 起業や新規事業の立ち上げ、スタートアップを応援します。特に起業してからの数年間は、若い企業が手厚くサポートされる仕組み作りを進めます。

徹底した治安対策で安心安全な川口へ！

● 埼玉県警の警察力の強化に取り組みます。市内3つ目の新しい警察署の開署が近いですが、きちんと人員が確保され、既存の2つの警察署と連携し、実際に治安が向上していくのかどうか、厳しく見ていきます。

● 外国人住民によるトラブルやニユースを目にする機会が増えたことで、不安を感じる市民が増えています。一方で、多文化共生を完全に否定するよつな極端な言説も見聞きます。秩序ある共生社会のあり方を皆で考えましょう。

小見山 祐紀 プロフィール

38歳 2児の父

- 昭和62年4月22日生
- 千葉大学 教育学部 小学校教員養成課程(教育心理学選修)卒
- 講談社「週刊少年マガジン編集部」「モーニング編集部」にて勤務
- モーニング副編集長に就任後、2023年春に講談社を退職
- 第13代川口市長・奥ノ木信夫の政務担当秘書を務める
- 妻と小学生の息子2人の4人家族

こみやま祐紀
公式ホームページ

X(旧 Twitter)
日々の活動を発信中!

YouTube
明るい話題をお届け中!

